



# あかまつ

## 学校教育目標

深く考える子供  
明るく思いやりのある子供  
丈夫でたくましい子供

## 重点教育目標 「わかる できる つかえる 子供」の育成

～「安全 安心 安定」のある学校をめざして～

### 大切にしたいこと・・・

今週、北海道に寒気が入り込み、道南でも初霜が観測されました。例年10月下旬から11月初旬に平地でも初雪が観測されるのですが、今年は遅くなりそうな気配です。

さて、文部科学省のGIGAスクール構想に基づき、学校に1人1台端末（本校ではchromebook）が導入され1年半が過ぎました。今では、1人1台端末を授業等で利用している風景が当たり前となり、切っても切り離せないツールの一つとなりました。

chromebookを活用することで、①画像や動画を使った学習が容易になる。②場所や制約を受けずに教育が受けられる。③子供に合わせた学習方法が選べる。などのメリットがもたらされました。この1人1台端末の導入と新型コロナウイルス感染症の流行は、学校教育の考え方や在り方を大きく変化させたと言っても過言ではありません。

しかし、いくら時代が変わっても、変わることはないこともあります。それは、社会の中で自分らしく生きていくために必要な力、例えば、自ら進んで行う力、コミュニケーション力、感情をコントロールする力、他者と関わる力などです。このような能力は非認知的能力と言われ、学力のように数値化することのできない能力なのです。先日、渡島PTA連合会研究大会があり、東京大学名誉教授 汐見稔幸氏の講演会冒頭でも、「これからの時代は、非認知的能力が大事になる。」と話されていました。また、子供たちが多様化する社会、変化の激しい社会を生きるために必要な資質・能力を育てるためにも、「子供の自分探しを本気で応援する子育てにするために、我が子のいいところをできるだけたくさん見つけることが保護者の仕事になる。AI社会で、情報がたくさん手に入るが、それだけでは意味がわかり知識になったとは言えない。だから、幼い頃から体験によって学ぶということをも可能な限り多くしてあげてほしい。」と最後に呼びかけていました。



子供たちが、将来の夢（目標）を実現するためには、自分のやりたいことを見つけ、考え、責任をもち行動できる力を高める必要があります。今後も学校では、子供たちに必要な力を育てるために、目標達成までのプロセスや試行錯誤などを大切にしたい教育を進めていきます。これからも、子供たちの「なぜ?」「どうして?」「何のために?」「こうしたい」「やってみたい」などを大切にしていきたいものです。

普段の教育活動の様子については七重小学校HPでご覧ください。<毎日17時更新>

<https://www.town.nanae.hokkaido.jp/education/category/501.html>

七重小学校



### 前期学校評価について

本校では、子供や保護者、地域の皆様の意見を幅広く取り入れながら、教育活動の改善・充実を目的に年2回の学校評価を実施しています。前期の学校評価の中で、本校が目指す『わかる できる つかえる 子供の育成』に対して肯定的な評価が多く見られました。また、教職員に対するねぎらいや感謝の気持ちもたくさん記述されていました。ありがとうございました。たくさんの貴重なご意見を参考に、今後もよりよい教育活動に努めて参ります。前期学校評価へのご理解とご協力に感謝申し上げます。なお、HPに学校評価について掲載していますので、下記URLからご覧ください。

<https://www.town.nanae.hokkaido.jp/education/detail/00009538.html>